

○令和2年度福岡県ジェネリック医薬品使用促進協議会 委員意見及び事務局コメント

議題番号	委員名	意見	事務局
2	山下委員	福岡県ジェネリック医薬品ガイドブック(令和2年3月発行)ありがとうございました。とても分かりやすくまとめられていて、医療関係者に役立つ情報になると思います。またバイオシミラーの項目を入れていただきありがとうございました。バイオシミラーの意義は「国民医療費の軽減」「公的支援制度の維持」「バイオ医薬品へのアクセス向上」にあります。また、2018年以降はトラスツマブ、ベバシズマブ、テリパラチドなど標準的に使用されている製剤が発売になっています。切り替えによるメリットは大きいです。半面、市民のバイオシミラーの認知度は低く、医療従事者の理解度(バイオシミラーの特性など)も出来ていません。今後、ジェネリック医薬品使用促進協議会において是非ともバイオシミラーの普及に尽力していただけたら幸いです、そのための協力は惜しみませんのでご検討宜しくお願い致します。	ご意見ありがとうございます。 バイオシミラーについて県民及び医療機関等に対して理解度が上がるような取り組みを検討したいと思います。
5 全委員 承認	井上委員	協議会設置以降の取り組みや課題が簡潔に伝わりました。ありがとうございます。 報告書にもありますが、普及率80%の目標達成には、これまでと異なる視点での試みが必要です。国に対しても、薬価やジェネリック医薬品の権威付けといった新しい一手を検討するよう求めてもいいのではないのでしょうか。 報告書にある各自治体の事例については、並列にするのではなく、他自治体にも参考になる点をもっと目立つよう記載方法を工夫してもいいと思います。	ご意見ありがとうございます。 次回市町村を対象としたアンケートを実施する際に、そのような構成にしたいと思います。
	大田委員	会員会社において薬機法違反による行政処分が相次いで発生しましたことを、会員会社に代わってお詫び申し上げます。 昨年は品質に起因する問題が多発し、ジェネリック医薬品の品質と安定供給に対する医療関係者と患者の信頼が大きく揺らいでおります。当協会として、「医薬品の製造管理、品質管理に起因する問題への対応」と「ジェネリック医薬品の安定供給」を最優先課題として取り組むことにより、ジェネリック医薬品の信頼回復に努めてまいります。 第四期中間報告について、大筋で承認いたします。可能であれば、ジェネリック医薬品の品質に起因する問題が多発していること等に触れたがよいと考えます。	ご意見ありがとうございます。 ご指摘を踏まえて中間報告書の「おわりに」にその旨を追記しました。
	片平委員	政府目標が2020年9月までに80%であるにもかかわらず、県としては80%の達成時期を2023年度としている点に疑問を感じる。	ご意見ありがとうございます。 本県の第3期福岡県医療費適正化計画自体が平成35年度(2023年度)までとなっているため、当該計画では、平成32年の達成を前提としつつ、目標を設定しました。
	高木委員	この2年間のGE普及率の鈍化は、卸の不安定供給が一つの要因であり医薬品卸業協会として責任を感じる場所である。医療機関で使用されているGEメーカー数が多く(80社程度)品揃えに苦慮している。	ご意見ありがとうございます。
	山下委員	福岡県の令和2年度上半期におけるジェネリック医薬品普及率は80%に到達できませんでした。問題なのは前年同期と比べて高止まりしていることです。令和5年度までに達成にはさらなるギアをアップすることが必要だと思います。どこが止まっているのかをしっかりと分析してください。もしかしたら地域での格差が原因なのかと思います。また大都市において普及率が上がると率もあがるのではないかと考えています。	ご意見ありがとうございます。 令和3年度はレセプト分析をする予定ですので、その中で地域による差についても分析できればと考えています。
6	富永委員	アンケート結果によると子どもについては医師薬剤師からジェネリック医薬品を勧められないとする回答が多いので、子ども及び保護者向け啓発だけでなく、医療機関についても改めて啓発を行っていただけないでしょうか。	ご意見ありがとうございます。 医師・薬剤師からジェネリック医薬品を勧められるよう医療機関・薬局に向けた事業を検討したいと思います。
	高木委員	製造メーカーの製造中止や出荷調整の影響も大きい。	ご意見ありがとうございます。

議題番号	委員名	意見	事務局
7 全委員 承認	井上委員	普及率に関しては、頭打ちだと感じており、現状のような一律の取り組みでは80%の目標達成は難しいという点に賛同します。 今後は、地域や医療機関、薬局、使用率の低い年齢層などターゲットを絞ったより効果的な対策や研修、多剤併用の改善などと合わせた複眼的な取り組みを推進していただきたいと思ひます。そのためにもメンバーをより専門的な方に絞って検討していく方がいいと思ひます。	ご意見ありがとうございます。 ご指摘のとおり使用率が上がらない要因はいくつかあり、それぞれに的確に対応していく必要があると思ひております。それぞれの専門の方の意見を聞きながら事業を進めたいと思ひます。
	大田委員	ジェネリック医薬品の使用促進について、これまでと一段違ったフェーズとなる中で、協議会を一区切りとする方向性は承認いたします。ジェネリック医薬品の信頼回復・効果的な使用に向けて、協議会の所掌や組織(構成委員等)の検討・見直しも必要と思ひます。 医療費適正化の観点から、信頼されるジェネリック医薬品の使用促進は必要と思ひます。	ご意見、ご賛同ありがとうございます。
	小野会長	現在選挙投票年齢が18歳からとなっておりますので、20歳以下の人もそれなりに多くお願いしたらどうでしょうか。 若い方の医薬品の使用は、高齢者に比較し格段に少ないと思われますが、若い時からの意識や理解が重要と思ひます。	ご意見ありがとうございます。 ご指摘のとおり子ども世代の啓発も重要と思ひており、令和2年度は北九州地区及び福岡地区において子供向け啓発を行いました。令和3年度も同様の事業を他の市町村にも広げて実施したいと思ひております。その際に対象についても再度検討したいと思ひます。
	高木委員	この10年で県民にはGE 医薬品の認知度も増加したと思われるので、医療機関には安定供給、副作用等も課題解決ができるオーソライズドジェネリックやバイオセイムも採用促進に効果があると思ひられるため、今後の使用量の変化も注視する必要がある。	ご意見ありがとうございます。 ご指摘を踏まえて事業を進めたいと思ひます。
その他	井上委員	小林化工の事案は、ジェネリック医薬品全体への信頼を著しく低下させたを受け止めています。 日本ジェネリック製薬協会の方から参考資料を提出していただいているようですが、引き続きジェネリック医薬品の使用推進を呼び掛けていくのであれば、県でもできる範囲で信用回復につながる情報発信を迅速にやってくべきではないかと思ひます。	ご意見ありがとうございます。 ご指摘を踏まえて事業を進めたいと思ひます。
	三輪委員	ジェネリック医薬品使用促進を推進するためには、小林化工、日医工の問題を受けて失墜したジェネリック医薬品への信頼を回復することが先決と思ひます。日本ジェネリック製薬協会としての「取り組みの見える化」は信頼回復のため重要な取り組みと思ひます。	ご意見ありがとうございます。 ご指摘を踏まえて事業を進めたいと思ひます。